

地域の特色を生かした山村留学事業

～新たに生まれた地域力～

八女市星野村・山村留学を育てる会【自治公民館】事務局長 井上 茂美

1 事業名 星野村山村留学事業

2 事業の目的

この山村留学事業は、星野村に住む子ども達が山村留学児童と共に学び、刺激し合うことにより、学校教育の活性化と活力ある地域づくりを目指すものです。

※学校教育、社会教育の両輪を担うものとして位置づけ

3 事業の実施主体

星野村山村留学を育てる会

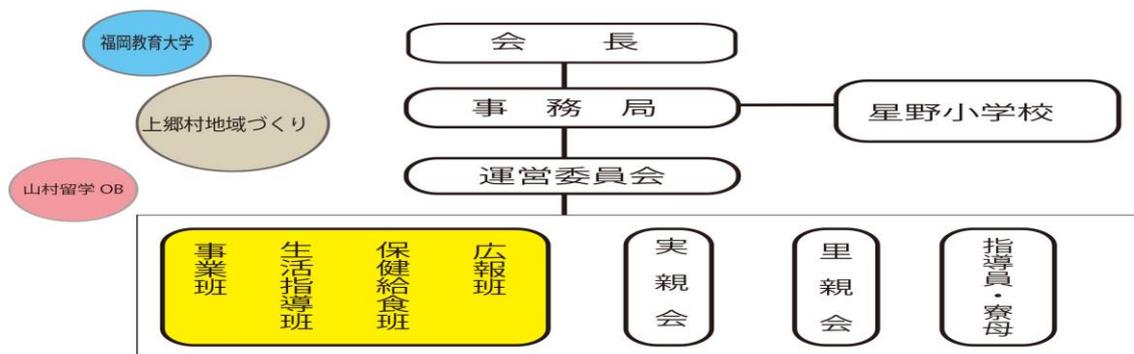
4 連携・協力機関・団体等

市立星野小学校・地域づくり団体（上郷村）・星野地区

公民館・福岡教育大学・一般財団星のふるさと



山村留学を育てる会組織図



5 事業予算

■予算規模 概ね 1,000 万円（市からの補助）で運営

■留学受け入れ負担金 月額 4 万円（11 ヶ月分）及び每学期 6 万円

※負担金合計 62 万円

6 実施に至る経緯

山村留学は 1976 年（昭和 51 年）、長野県八坂村に始まったとされています。

星野村では、平成 2 年度民間によるセンター方式「星野自然塾」で地域住民の熱意、小学校の協力により、滝の脇地区の空き家を活用し、12 名の留学生でスタートしました。

【基本目標】

○教育環境のマンネリ・固定化を改善

○都市との交流による地域の活性化の推進



7 1 年間の生活プログラム作成の視点

この取り組みは、親元を離れ新たな環境で生活する子どもたちを農村での新たな体験を通して、自然の美しさや神秘性、厳しさなどに触れさせることにより、感動や驚きを肌で感じてもらうこと。また、親子で地域行事に参加することで、地域コミュニティ活動の充実を図ることに重点を置いています。

8 事業の内容

1) 学校と地域づくり・公民館との連携事業

■事業名 仁田原夢物語づくり事業

A ディスカバー仁田原（上郷）・・・学校事業のサブタイトル

B 宝物さがし（住民サイド）・・・公民館事業の一環



A 児童の実践内容		B 公民館の支援内容	
1	地域の誇れるもの探し	1	資源調査
2	名所旧跡めぐり・聞き取り調査	2	名所旧跡の学習サインづくり
3	名所等の物語づくり	3	語り部として情報提供
4	夢物語コンテスト	4	子供たちとのふれあい交流

■趣旨（4つの目標）

- 第1. 人材づくり
- 第2. 住民自ら目標を持つて行動
- 第3. 一人ひとりの存在価値を評価できるようになる
- 第4. 子どもたちとの交流



2) 山村留学児童の地域とのふれあい体験事業

<主な体験事業>

- 星野村一高い「カラ迫岳登山」「石割岳登山」
- お茶摘み体験
- 大豆苗植え
- やまめのつかみ取り大会
- 山留太鼓で各地区の「敬老会慰問」、各種イベントで「太鼓演奏出演」
- 棚田での「田植え・稲刈り体験」
- 地区の「ふれあい運動会」や
伝統行事「鬼火焚き」など参加



9 事業の成果

1) 地元受入側として

- 地元児童は、学校現場における「序列化」がなくなり、新たな競争力を見出すことができます。
- 地域行事に留学児童の実親・家族が参加することで、人が地域が元気になり、地域の良さを改めて評価できます。



2) 留学生にとっての意義

- 農山村での毎日の暮らしが思い出であり、経験の場でもある。1年間親元を離れた子ども達は、厳しい条件下で集団生活での“仲間意識”や“生きる力”を身につけ大きく成長します。
- “第2のふるさと”として、卒業後も親子で交流ができます。

10 今後の課題

- 学校は、地域の支えによって大きくなり、地域は学校区中心に活性化されてきました。現在星野地区に小学校は1校であり、地域づくり・公民館事業との連携が大切であり、安定的な留学児童受け入れ推進が益々重要となります。

11 問い合わせ先

○山村留学について（星の自然の家 TEL0943-52-2288）

○「星のんっ子の村」冊子について（八女市役所星野支所 TEL0943-52-3112）